

# 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)																
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>さんばちかみきた</small> 三八上北森林計画区 (青森県)	事業実施主体	東北森林管理局 三八上北森林管理署																	
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、青森県南東部に位置する三八上北森林計画区内の国有林野79,193haである。</p> <p>当計画区は、下北半島付け根の丘陵地帯と計画区西側の八甲田山系に大別され、林況は、スギやアカマツの人工林が4割、ブナやヒバを主とする天然林が6割を占めている。</p> <p>当計画区内は十和田八幡平国立公園をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域であり、「奥羽山脈緑の回廊」等も所在し、登山、湖沼・渓谷散策のほか十和田湖等の有名景勝地の観光施設が整っており、森林を利用した保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>木材産業については、古くから広葉樹の木材加工産業やパルプ産業が盛んであるとともに、今後針葉樹の大型加工施設が稼働する予定であり、林業の活性化に取り組んでいる地域である。また、豊かな森林資源を利用して、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっている。さらに、本計画区内には水源が多く所在することから、国有林は用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>この地域に所在する森林は、天然青森ヒバの評価が高く国有林においても天然青森ヒバの供給、今後収獲量が増大するスギの安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、貯水機能と炭素貯蔵の機能を有している森林について適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、公益的機能と木材生産機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="margin-top: 20px;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">主な事業内容</td> <td style="padding-right: 20px;">森林整備</td> <td style="padding-right: 20px;">更新面積</td> <td style="padding-right: 20px;">1,011ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="padding-right: 20px;">保育面積</td> <td style="padding-right: 20px;">12,405ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-right: 20px;">路網整備</td> <td style="padding-right: 20px;">開設延長</td> <td style="padding-right: 20px;">36.9km</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">総事業費</td> <td colspan="3">3,837,043千円</td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	1,011ha			保育面積	12,405ha		路網整備	開設延長	36.9km	総事業費	3,837,043千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,011ha																	
		保育面積	12,405ha																	
	路網整備	開設延長	36.9km																	
総事業費	3,837,043千円																			
費用対効果分析	総便益(B)		31,157,924千円																	
	総費用(C)		4,802,090千円																	
	分析結果(B/C)		6.49																	
事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、用水源などの公益的機能の発揮と青森ヒバ生産、針葉樹大型加工施設などの木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。																			
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性 土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能の発揮、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元特産材供給(青森ヒバ)及び国有林内での地域振興等に応えるため本事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																			

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業		事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)													
事業実施地区名 (都道府県名)	おおつち けせんがわ 大槌・気仙川森林計画区 (岩手県)		事業実施主体	東北森林管理局 三陸中部森林管理署													
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、岩手県南東部に位置する大槌・気仙川森林計画区内の国有林野29,050haである。</p> <p>当計画区は、北上高地から太平洋沿岸に向け東傾している地帯で、大槌川、小槌川、気仙川等が太平洋へと注いでいる。</p> <p>林況は、スギやカラマツ等の人工林が5割、ブナやナラ等の天然林が5割を占めている。</p> <p>当計画区内はリアス式海岸をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域であり、三陸復興国立公園や五葉山県立自然公園等が所在している。これらの地域は、景勝地の観光施設が整っていると同時に、森林を利用した保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、「気仙スギ」、「気仙大工」の言葉に象徴されるように従来より林業が盛んであり、木材加工施設の整備が進められるなど林業・木材産業の活性化に取り組んでいる地域である。</p> <p>この地域に所在する森林は、木材の安定供給と震災復興用木材等の供給を通じた産業振興や漁業・養殖産業に与える影響が大きいことから、森林の機能が各方面に大きく寄与することが期待でき、適切な森林整備を行うことにより供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、木材生産機能、水源涵養機能等の公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元国産材の需給率向上に向け植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>4 1 5 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5, 5 7 5 h a</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1 5 . 2 k m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td>1, 7 7 5, 4 5 5 千円</td> </tr> </table>					森林整備	更新面積	4 1 5 h a		保育面積	5, 5 7 5 h a	路網整備	開設延長	1 5 . 2 k m	総事業費		1, 7 7 5, 4 5 5 千円
森林整備	更新面積	4 1 5 h a															
	保育面積	5, 5 7 5 h a															
路網整備	開設延長	1 5 . 2 k m															
総事業費		1, 7 7 5, 4 5 5 千円															
費用対効果分析	総便益(B)		1 6, 7 7 6, 3 7 5 千円														
	総費用(C)		2, 2 6 1, 2 2 9 千円														
	分析結果(B/C)		7. 4 2														
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、公益的機能の発揮と気仙スギブランドを活用したの木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>																
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能の発揮、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元特産材供給(気仙スギ)及び国有林内での振興等に応えるため本事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)																
事業実施地区名 (都道府県名)	おものがわ 雄物川森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、秋田県の中央部から南部に位置する雄物川計画区内の国有林野111,054haである。</p> <p>当計画区は、奥羽山系から日本海に向け西傾している地帯で、南北方向に雄物川が貫流し、岩見川等の支流を集め日本海へ注いでいる。</p> <p>林況は、スギ等の人工林が3割、ブナ等の天然林が7割を占めている。</p> <p>当計画区内は十和田八幡平国立公園や田沢湖をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域であり、貴重な動植物が多く生息する原生的な天然林等があり、この天然林等を維持・保全するため、「葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域」を設定しているほか、県立自然公園等も所在している。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・渓谷散策のほか玉川温泉や田沢湖等の景勝地の観光施設が整っていると同時に、アクセスが良好なことから森林を利用した保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、南部では樺細工、北部ではスギ等の木材加工産業が盛んであるとともに、豊かな森林資源を利用して、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっている。上流に位置する森林は全国でも有数の穀倉地帯、秋田平野の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>この地域に所在する森林は、スギ等の評価が高く国有林においてもスギ等の木材の安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、貯水機能と炭素貯蔵の機能を有している森林については適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、公益的機能と木材生産機能及び水源涵養機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p>																		
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">597ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,933ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>37.1km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">3,107,595千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	597ha			保育面積	8,933ha		路網整備	開設延長	37.1km	総事業費	3,107,595千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	597ha																
		保育面積	8,933ha																
	路網整備	開設延長	37.1km																
総事業費	3,107,595千円																		
費用対効果分析	総便益(B)	28,317,263千円																	
	総費用(C)	3,970,842千円																	
	分析結果(B/C)	7.13																	
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、用水源などの公益的機能の発揮とスギ等の木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能の発揮、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元国産材供給及び国有林内での振興等、地域の要請に応えるため本事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)																
事業実施地区名 (都道府県名)	おものがわ 雄物川森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、秋田県南部に位置する雄物川森林計画区内の国有林野43,767haである。</p> <p>当計画区は、東方に奥羽山系、西方に出羽山地、南方に栗駒山等があり三方を山地に囲まれている。南方の栗駒山、神室山からは役内川や皆瀬川が雄物川と合流し横手平野を貫流している。</p> <p>林況は、スギ等の人工林が2割、ブナ等の天然林が8割を占めている。</p> <p>当計画区内は栃ヶ森、神室山をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域であり、貴重な動植物が生息する原生的な天然林等があり、「栗駒山・栃ヶ森森林生態系保護地域」を設定しているほか、「奥羽山脈緑の回廊」等が所在している。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・渓谷散策のほか、秋ノ宮温泉や小安峡等の景勝地の観光施設が整っているため、森林を利用した保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、木材生産業や木材加工産業が盛んな地区であるとともに、豊かな森林資源を利用して、キノコや山菜を利用した林産物加工業が観光地と連携した地域の重要な産業となっており、主要河川の上流に位置する森林は穀倉地帯の横手平野の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>この地域に所在する森林は、木材の安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、貯水機能と炭素貯蔵の機能を有している森林については適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、公益的機能と水源涵養機能及び木材生産機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては地域の要請に応えるとともに森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元国産材の需給率向上に向け植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p>																		
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">198ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">1,456ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">31.5km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,218,271</td> <td></td> <td style="text-align: right;">千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	198ha			保育面積	1,456ha		路網整備	開設延長	31.5km	総事業費	1,218,271		千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	198ha																
		保育面積	1,456ha																
	路網整備	開設延長	31.5km																
総事業費	1,218,271		千円																
費用対効果分析	総便益(B)	4,933,273 千円																	
	総費用(C)	1,357,644 千円																	
	分析結果(B/C)	3.63																	
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、公益的機能の発揮とスギ等の木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能の発揮、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元国産材供給及び国有林内での振興等、地域の要請に応えるため本事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p style="text-align: center;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	最上村山森林計画区 (山形県)	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県中央部に位置する最上村山森林計画区内の国有林野77,072haである。</p> <p>当計画区は、東は奥羽山脈、西は朝日山地、南は頭殿山、北は葦草森山と四方を山々に囲まれた盆地状の地帯で中央部を最上川が貫流している。林況は、スギ等の人工林が2割、ブナやナラとする天然林が8割を占めている。</p> <p>当計画区内は「磐梯朝日国立公園」、「蔵王国定公園」、をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域や森林レクリエーションの適地を多く有する地域である。</p> <p>これらの地域は、観光地、森林レクリエーション、名勝とが一体となって自然景観や風致を構成している森林であり、有名観光施設があることやアクセスが良いことから保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して製材業・木材産業が発達しており、キノコや山菜を利用した林産物加工業が山間地域の重要な産業となっており、主要河川の上流に位置する森林は穀倉地帯の庄内平野の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>この地域に所在する森林は、木材の安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、貯水機能と炭素貯蔵の機能を有している森林については適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、公益的機能、水源涵養機能、木材生産機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元国産材の需給率向上に向け植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>5 9 3 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2 , 3 3 4 h a</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3 0 . 9 k m</td> </tr> </table> <p>総事業費 1, 8 7 4, 4 4 6 千円</p>			森林整備	更新面積	5 9 3 h a		保育面積	2 , 3 3 4 h a	路網整備	開設延長	3 0 . 9 k m
森林整備	更新面積	5 9 3 h a										
	保育面積	2 , 3 3 4 h a										
路網整備	開設延長	3 0 . 9 k m										
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総 便 益 ( B )</td> <td>9 , 2 8 0 , 9 1 2 千円</td> </tr> <tr> <td>総 費 用 ( C )</td> <td>2 , 2 0 1 , 8 9 2 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果 ( B / C )</td> <td>4 . 2 1</td> </tr> </table>			総 便 益 ( B )	9 , 2 8 0 , 9 1 2 千円	総 費 用 ( C )	2 , 2 0 1 , 8 9 2 千円	分析結果 ( B / C )	4 . 2 1			
総 便 益 ( B )	9 , 2 8 0 , 9 1 2 千円											
総 費 用 ( C )	2 , 2 0 1 , 8 9 2 千円											
分析結果 ( B / C )	4 . 2 1											
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、用水源などの公益的機能の発揮、観光地を活かした林産加工品供給やスギ等の木材生産等を通じた地域振興の寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性 近年大雨による被害が多発している地区であり、土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能が求められていることや、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元国産材供給及び国有林内での振興等、地域の各種要請に応えるため本事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成27年度～平成31年度(5年間)																
事業実施地区名 (都道府県名)	最上村山森林計画区 (山形県)	事業実施主体	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署																
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県北部に位置する最上村山森林計画区内の国有林野106,954haである。</p> <p>当計画区は、東は奥羽山脈、西は虚空蔵岳、南は葦草森山、北は丁岳と四方を山々に囲まれた地帯で、計画区中央を最上川が鮭川等支流を集め日本海へと注いでいる。</p> <p>林況は、スギ等の人工林が3割、ブナやナラとする天然林が7割を占めている。</p> <p>当計画区内は、「栗駒国立公園」、をはじめとして優れた景観と自然環境を有する地域や森林レクリエーションの適地を多く有する地域である。</p> <p>これらの地域は、観光地、森林レクリエーション、名勝とが一体となって自然景観や風致を構成している森林であり、有名観光施設があることやアクセスが良いことから保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して素材生産業・製材業及び木材産業が発達しており、大型製材工場が林業の活性化に寄与しているとともにキノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっており、主要河川の上流に位置する森林は用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>この地域に所在する森林は、木材の安定供給を通じた産業振興に寄与することが期待でき、貯水機能と炭素貯蔵の機能を有している森林については適切な森林整備を行い、これらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減と低炭素社会の構築に寄与し、公益的機能、水源涵養機能、木材生産機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては地域の要請に応えるとともに森林の有する公益的機能の発揮、低炭素化社会、地元国産材の需給率向上に向け植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた機能の発揮、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">1, 0 1 4 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5, 2 5 2 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3 6 . 9 k m</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2, 9 4 7, 2 1 2 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1, 0 1 4 h a			保育面積	5, 2 5 2 h a		路網整備	開設延長	3 6 . 9 k m	総事業費			2, 9 4 7, 2 1 2 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	1, 0 1 4 h a																
		保育面積	5, 2 5 2 h a																
	路網整備	開設延長	3 6 . 9 k m																
総事業費			2, 9 4 7, 2 1 2 千円																
費用対効果分析	総便益(B)	1 7, 5 5 2, 4 3 2 千円																	
	総費用(C)	3, 6 5 7, 9 1 8 千円																	
	分析結果(B/C)	4 . 8 0																	
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、用水源などの公益的機能の発揮とスギ等を利用した大型製材工場の木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性      土砂流出防止、水質浄化等の公益的機能の発揮、炭素固定等の地球温暖化対策、木材の安定供給、地元国産材供給及び国有林内での振興等、地域の要請に応えるため本事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性      費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性      国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。</li> </ul> <p style="margin-top: 10px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		